



福岡県小郡市大板井1143-1  
 電話番号 0942-72-7221  
 FAX 0942-72-7222



発行人  
 こぐま福祉会「そら」編集委員会



<http://www.koguma.ed.jp>

# 新年度スタート！！



## 新年度を迎えて

四月一日、満開となった園庭の桜のもとで始園式が行われ、こぐま福祉会の平成二十七年度がスタートしました。

今年度も職員一同、笑顔を忘れずに利用者の方々に喜んで頂ける支援に務めて参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

昨年度は老朽化している施設整備を進めましたが、新年度も快適に過ごして頂ける環境づくりに引き続き取り組みます。

また、尾久保研修所(みんなの館)も設立十周年を迎え、「児童発達支援事業、放課後等デイサービス、就労継続B型」を立ち上げよいよ新しい一歩を踏み出しました。

こぐま福祉会本部である「こぐま学園」は三十四年目のスタートとなりますが、初心にもどって「こぐま学園の療育」や様々な事業内容についてきちんと見つめ直し、利用者の方々はもちろん、地域の皆様に今まで以上に喜んで頂ける事業の推進を目指して参ります。

そのためには職員全員が知恵を出し合うことが求められていますので、これまでの「こぐま学園の常識」という殻を破ることも時には必要です。職員のエネルギを引き出し、皆様のご期待にお応えできるようにアクティブな活動に取り組んで参りますので、皆様どうぞよろしくお願い致します。

(副理事長 入江)

## 心の窓



お母さん 有森 唯さん

初めまして、有森唯の母です。娘の義務教育を終えた記念?!として『心の窓』を書かせてもらうことにしました。

娘は、平成十二年一月八日、有森家の長女として元気に誕生しました。

赤ちゃんの頃は、二つ年上の兄とは違ってとても大人しく、ほとんど手がかからない子でした。成長の遅れはあったものの、一歳半健診まであまり気にせず過ごしていました。でも異常が見つかり、こども病院で精密検査をすることに；結果『四番目染色体異常』と判明。「発達遅滞があります。後は療育していくしかありません。」と言われ、こぐま学園を紹介されました。

娘に申し訳ない気持ち、これから先の不安な気持ち溢れて毎日涙が止まりませんでした。『障害』という言葉が重くのしかかり、落ち着くまで時間がかかりました。

「先の事を今考えても仕方ない。今出来る事をしっかりとやっていこう。」と主人に言われ、気持ちが前向きになったように思います。

早いもので四月から高等部一年生。こぐま学園に通うようになって十三年以上経ちました。ゆうで一緒だったお友達とも中学部から同じ学校で過ごしています。みんなの成長も感じられると共に、親同士悩み相談など出来て、今でも繋がっていられることを嬉しく思っています。

いつも元気で、明るい娘ですが、心配事は絶えません。小学五年生から思春期に突入。中学二年生の頃がピークでした。急に興奮したり、落ち込んで泣いたり、激しいイライラで人や物にあたったり；精神的に不安定な日々が続きました。自分の気持ちを伝えることが難しいもあり、私も理解に苦しみ、こぐまの先生方に相談しました。いつもしっかりと話を聞いて対応して下さい、アドバイスを頂きました。有難うございます。

これまで、沢山の支えがあったからこそ、親子共に成長できたと思っています。今までお世話になった方々に心から感謝・感謝・感謝です。これからも感謝の気持ちを忘れず、娘の一番の理解者であり続けたいと思います。

## こぐまLINE



相談員 福富 梨恵

みなさん、こんにちは。相談員の福富梨恵と申します。四月でこぐま学園に入職して三年目を迎えました。初めましての方もたくさんいらっしゃると思うので、簡単に自己紹介をさせていただきます。

私は、生まれも育ちも小郡で、大小学入学を機に一度県外へ出ましたが、卒業後はまたすぐ小郡に戻ってきて小郡で就職するという生粋の小郡人です。そこで、せっかくなので小郡のおすすめの場所を皆さんにご紹介できればと、ここ数日ずつと考えていたのですが、ペーパードライバーで、しかも最寄り駅から家までの間で迷子になる程の方向音痴なので、あまり小郡を巡ったことがなく家の近所くらいしか知らないことに気が付きました。こぐま学園に入職して車の運転をする機会が増え、最近はドライブの楽しさもようやく覚えてきたので、カーナビを頼りに小郡巡りでもして、みなさんにご紹介できるようなおすすめの穴場を見つけたと思います。

さて、ずっと小郡に住んでいるので、もちろん実家も小郡なのですが、今は家を出てひとりで暮らしています。といっても、実家のすぐ近

くなので、平日は夕食を食べに実家に帰り、寝るためにひとり暮らしの家に帰るといって甘えた生活を送っています。ところが、数日前から両親が仔犬を飼いだしたため（なぜか父と母それぞれが一匹ずつ）、その子達が可愛くて可愛くてどうにも離れ難く、とうとう、仔犬と一緒に布団で寝て朝方帰るようになってしまいました。二匹のうち一匹は生後一ヶ月ちよつとの赤ちゃんなので、夜中二〜三時間置きに鳴いて起きます。私が一緒に寝ているにも関わらず寝ぼけてなかなか起きないので、隣の部屋から母が起きてきて、仔犬をトイレに連れて行ったり遊んだりして寝かしつけています。ぼんやりした頭でお母さんてすごいなあと関心しつつ私はすぐに夢の中・・・今年目標は、もう少し自立した大人になることです。

最後になりますが、私はこどもが好きで、こどもと関わる仕事がしたいなあと漠然と思っていました。縁あって、小さい頃からご近所さんのこぐま学園で働くことになり、お子様の素敵な笑顔や可愛い泣き顔に癒され、元気付けられる毎日です。お子様や利用者の方、保護者の方々に安心してこぐま学園を利用していただけるよう、私も日々笑顔忘れずがんばります！どうぞよろしくお願ひします。

# 遠足 行ったよ

3月20日(金)、「児童発達支援センター ゆう」の鍛錬遠足で大刀洗町にある城山公園へ行ってきました。心配していた天気も、願っていた晴れとなり実施することができました。みんながゴールを目指して、お友だちやお母様たちと、菜の花やちょうちょなどたくさんの春を見付けながら歩きました。こぐま学園から城山公園までは4kmほどあり、お子様の足では2時間ほどかかります。そんな長い距離でもみんなで楽しく歩くことができました。公園に着くと、お母様やお友だちと遊具や広場でたくさん遊び、みんなの笑顔で溢れていました。風が強い中でおこなったシャボン玉は、大きなものや長いシャボン玉がたくさん出来て、みんなとても嬉しそうでした。お弁当もみんなで食べたことで、いつもよりおいしく感じました。

昨年があいにくの雨で実施できなかった為、今年は特に心配していた鍛錬遠足。楽しみにしていたみんなの思いが届いて「晴れ」になったのかもしれませんが。小学生になるお友だちにとっては最後の行事でした。お子様にとって「ゆう」で過ごした思い出の一つになればいいなと思っています。(児童指導員 牛嶋)

なが〜いシャボン玉〜♡



おっきいシャボン玉作るぞー★



やった〜！ シールゲット〜！！



るるるるん♪



みんなで歩くの 楽しいなあ\*

## 就学おめでとう

3月27日(金)に「お祝い会」が行われました。今回、こぐま学園・しろくま・ゆう、合わせて15名のお子様が進学しました。進学したお友達、そしてご家族の皆様、本当におめでとうございます。

最初に通い始めた頃は、まだ体も小さく、保育場面でもなかなか慣れずに泣いてしまうお子様もいましたが、徐々に集団場面での活動に慣れてきて、お友達の意識も高まっていきましたね。

日々、いろんな体験を積み重ねた保育、遠足や運動会、夏祭りやクリスマス会などのたくさんの行事はどれも楽しい思い出ですね。ご家族にとっても、同伴通園と一緒に活動を共有することで、お子様の新しい一面、そして成長をたくさん発見できたのではないのでしょうか。

お祝い会当日、会場の一番前で座っているお子様は、表情や服装、髪型までバッチリ決めて、なんとも凛々しい姿でした。療育証書授与後には、ご家族一人一人からこれまでの経緯や想いを語って頂きました。全ての方のスピーチ、大変感動致しました。

すでに学校生活は始まっていると思います。学校生活には慣れましたか？新しいお友達はできましたか？新しいステージで大いに飛躍して下さいね。スタッフ一同、これからもずっと応援していきます。

(児童発達支援センターはぐ(こぐま学園) 園長 木下)



**園内研修報告**

平成 27 年 3 月 16 日 (月) 小郡市総合保健福祉センターあすてらすにて、『ライフステージを考える』をテーマに、第 11 回 園内研修発表会を開催しました。

今回は、他機関より 12 名の方が参加され熱心に聴講されました。内容は、これまでの症例報告や活動報告、指定演題での研究発表があり、また特別講演として、こぐま学園診療所所長塩永医師より『療育について～これから求められる療育とは』のテーマで講演がありました。

年に一度の研修会は、それぞれの事業や業務についてじっくり考え、サービス内容を見直し、今後の方向性を検討する良い機会となっています。

今後もさらに発展した研修会となるよう、これからも努めていきたいと思ひます。  
(研修セミナー委員 白水)



いもかわ ちえ  
**妹川 知恵 (保育士)**

- ①チアダンス
- ②お子様の笑顔を見ながら、楽しい毎日を過ごしています。



えんどう たける  
**遠藤 武流 (生活支援員)**

- ①ダーツ・ビリヤード
- ②一人でも多くの人の支えになるためにこれから頑張りたいと思ひます。



かわむら つぐみ (保育士)  
**川村 つぐみ (保育士)**

- ①絵画・番組の編集
- ②はじめまして、お久しぶりです。よろしくお願ひいたします。



かわなみ みさ  
**川波 美沙 (生活支援員)**

- ①和太鼓 (今は休止中)
- ②感謝する気持ちを忘れず、謙虚な姿勢で、共感すること。



**新入職員です！よろしくお願ひします！** (①趣味・特技 ②ひとこと)

いのうえ たまき  
**井上 環 (保育士)**

- ①楽器を演奏すること
- ②大人だって成長します。お子様と共に前進していきたいです。



おのでら ひさえ  
**小野寺 日佐恵 (生活支援員)**

- ①読書、音楽・映画鑑賞
- ②笑顔を忘れず前向き思考で日々精進します。よろしくお願ひします。



たなか さおり  
**田中 早織 (受付)**

- ①裁縫
- ②一日も早く堂々と何でも聞いてくださいと言えよう頑張ります。



おおば ゆみこ  
**大庭 裕美子 (看護師)**

- ①ドライブ・散歩
- ②具合が悪くなったり、気になることがあればいつでも呼んでください。



**行事予定**

≪5月≫

- 19日(水) ゆう誕生会
- 22日(金) ゆう遠足
- 23日(土) 理事会・評議員会
- 23日(土) ~24日(日) 愛らんど宿泊体験

≪6月≫ ※交流保育開始

- 8日(月) 職員救急救命講習会
- 9日(火) べあクラブ社会体験  
はぐ・しろくま・ゆう誕生会
- 10日(水) ~12日(金) 太宰府特別支援学校見学
- 11日(木) 久留米特別支援学校見学
- 18日(木) 小郡特別支援学校見学
- 25日(木) 避難訓練

≪7月≫

- 1日(水) こぐま学園 プール開き
- 14日(火) ゆう誕生会

**退職者紹介**

- 作業療法士 高橋 知義・田嶋 はな・江渡 文
- 就労支援員 吉浦 由香理
- 生活支援員 久佐木 明子
- 保育士 菊池 美香子
- 事務 森山 剛章・森田 香織

**今までありがとうございました**

**受付からのお願い**

受給者証の確認をさせていただいておりますので、窓口へご提出下さい。また、健康保険証に關しましては月に1回の提出が義務付けられています。

(受付 有吉)

**事業所名変更のお知らせ**

児童発達支援センター「こぐま学園」は H U G 「はぐ」に名称を変更しました。

